

＜対策のポイント＞

国際連合食糧農業機関（FAO）危機管理センターに専門家を派遣するとともに、世界における越境性動物疾病の危機管理体制の構築や発生時の対応に関する技術的支援並びに牛痘ウイルスの適正管理及び緊急用ワクチンの供給体制整備による牛痘の清浄性維持を図ります。

＜政策目標＞

- 世界の越境性動物疾病のまん延防止により、我が国への侵入リスクを低減し、国産畜産物の安定生産・輸出に貢献
- 牛痘ウイルスの適切な集積・保管及び牛痘ワクチンの製造・保管による、世界における牛痘の清浄性維持

＜事業の内容＞

世界の越境性動物疾病のまん延防止及び牛痘の清浄性維持に向けた取組
26（29）百万円

1. FAO危機管理センターへの専門家派遣及び越境性動物疾病まん延防止

FAO危機管理センターに我が国の専門家を派遣するとともに、同センターが行う以下の活動を支援します。

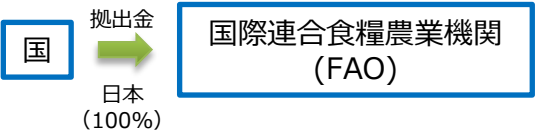
- ① 越境性動物疾病に関する情報収集・提供
- ② 危機管理体制の構築及び越境性動物疾病発生時の技術的助言
- ③ 専門家との連携強化及び技術課題解決のための現地会合及び演習の開催

2. 牛痘の清浄性維持体制整備

2011年に撲滅が宣言された牛痘の世界における清浄性維持を目的として、牛痘ウイルスの集積・保管及び牛痘ワクチンの製造・保管体制を整備します。

- ① 牛痘ウイルスの集積・保管
- ② 緊急用牛痘ワクチンの製造・保管

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

- FAO危機管理センターへの専門家派遣及び活動支援

- ① 疾病発生 of 早期検知、詳細な疫学情報の収集や共有等
- ② 事前の危機管理体制の構築及び発生時防疫措置に関する技術的助言を行う専門家チームの派遣
- ③ 緊急時の迅速な対応を可能とするための事前の連携会合や演習



FAO専門家チームが支援した防疫対応
(出典：FAO)

- 牛痘ウイルスの保管体制整備

- ① FAO/WOAHにより認定された特定施設への牛痘ウイルスの集積・保管
- ② 万一の牛痘の再興に備え、緊急用ワクチンの製造・保管



牛痘に感染した牛
(出典：農研機構動物衛生研究部門)

【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 消費・安全局動物衛生課 (03-3502-8295)